

(本メールマガジンは、これまで日越大学構想に関するセミナー・会議等に参加された方や、名刺交換させていただいた方々にお送りしております。)

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学です。2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に約150名の学生が在籍し、日本語と英語を学び、企業管理(MBA)、公共政策、地域研究、ナノテクノロジー、環境工学、社会基盤の各専攻プログラムで勉強しています。

皆さん、こんにちは！日越大学構想・国内支援事務局です。

本メールマガジンでは、毎月1回、日越大学の近況や日越大学を取り巻くベトナムの状況について、読者の皆様にお届けいたします。このメルマガを通して、もっとたくさんの方に日越大学のことを知っていただきたいと思っています。

## 【今月のトピックス】

### 1 日越大学ニュース

#### ・ 2018年度入学試験日程のお知らせ

2018年度の日越大学修士課程入試期間が以下のとおり発表されました(1次/2次)。

✓ 地域研究プログラム	3月24-31日	/	7月21-23日
✓ 環境工学プログラム	3月29-30日	/	7月17-31日
✓ 企業管理プログラム	3月23-26日	/	7月27-30日
✓ 社会基盤プログラム	3月31日	/	7月28日
✓ 公共政策プログラム	3月18日	/	7月7-9日
✓ ナノテクノロジープログラム	3月28-31日	/	7月23-31日
✓ 気候変動・開発プログラム(新設)	3月24-27日	/	7月23-31日

もちろん、日本人学生の方でも応募可能です！周りに興味をお持ちの方がいれば、是非、日越大学までお問い合わせください。詳細は、以下のウェブページ(英語)からもご覧いただけます。

<http://admission.vju.ac.vn/>

## ・「Japan Vietnam Festival」への参加

1月27～28日の2日間、地域研究プログラムの学生10名と日越大学スタッフは、ホーチミン市中心部の9月23日公園にて開催された「第5回 Japan Vietnam Festival」のメインイベントの一つ「日越交流ぼんおどり大会」に参加、お揃いの法被を着て、約100名の盆踊りの輪に加わりました。殆どの学生が盆踊りを踊るのは初めてで、最初はぎこちなく、身振り手振りで踊っていましたが、後半になると太鼓の調子に合わせ、他の参加者と共に笑顔で踊れるようになりました。学生たちにとっては日本文化の一端に触れることができ、有意義で思い出深いものとなりました。

## ・「WORKFITプログラム」の開催

2月1日、RGF（リクルート・グローバル・ファミリー）のひとつでベトナムにおいて人材紹介事業を行っているRGF HR Agent Vietnam社より担当者を招いて「WORKFITプログラム」を実施、約20名の学生が参加しました。このプログラムは、就職活動における「面接力」の向上を目的としたもので、参加した学生たちは少人数のグループに分かれてロールプレイ形式での面接を体験し、実践に役立つ力を身につけました。日越大学では、第一期生の卒業を本年6月に控え、このようなキャリア支援行事を今後充実させていく予定です。

## 2 日越大学で働く専門家の紹介

### 【第8回：小寺昭彦専門家（気候変動・開発プログラム）】

ベトナム・ハノイの日越大学で働く方々を紹介するコーナー。今回は、小寺昭彦専門家（気候変動・開発プログラム）をご紹介します。

1972年大阪生まれ、奈良・吉野の育ち。千葉大学卒業後、京都大学で熱帯農学を学び修士・博士号を取得。その後、農業環境技術研究所、総合地球環境学研究所、神戸大学農学部、茨城大学地球変動適応科学研究機関に勤務後、2017年8月よりJICA長期専門家として日越大学へ赴任されています。

専門は熱帯農業環境で、特に農業の気候変動影響や洪水等の災害問題に携わってきました。最近には主に衛星リモートセンシング技術を活用した同テーマの研究に取り組んでおり、2017年暮れに種子島で打ち上げられた最新型気候変動観測衛星「しきさい」にも関わる等、ベトナムでも最先端の気候変動研究の成果が期待されています。

初めてベトナムを訪問したのは1996年暮れで、翌年からハノイの農業科学技術院(現VAAS)にお世話になり、日夜泥だらけになりながら博士号テーマのイネの研究に没頭していました。当時作業の合間に農家の方たちから教えてもらった(鍛えられた?)ベトナム語会話や日常の些細な知

識は、今でも大いに役に立っているとのこと。その後ベトナム北部をいったん離れ、ベトナム南部、東南アジア各国、トルコ等に活動の場を移しましたが、再び原点であるハノイに戻ってきました。

小寺専門家ご本人からは「日越大学では初心に立ち戻り、新しいことにも積極的にチャレンジしながら、学生・教員・スタッフの方たちと共に日越大学の発展に貢献したい」との抱負が述べられるなど、今後のご活躍が大いに期待されます。

### 3 プログラム紹介

#### 【第6回：気候変動・開発プログラム (MCCD)】

2018年9月、「気候変動・開発」は日越大学第7番目の修士課程プログラムとして誕生します。

茨城大学が幹事校となり日越双方の教員による協力のもと鋭意準備が進められており、来る開講に向け質の高い万全の体制が整っています。また社会貢献の一環として、気候変動影響対策の最前線となる地方自治体との協働にも取り組んでいます。

気候変動は、現在人類が直面する危機的な問題の一つであり、世界中の人々が多かれ少なかれその悪影響を受けると考えられています。特にベトナムは、洪水や干ばつ、台風被害の発生頻度の増加、海面上昇などにより、気候変動に対し世界の中でも非常に脆弱な地域であります。さらに人口・経済の急成長に社会インフラ整備が追いついていないという社会・経済状況がその悪影響をより大きくするものと危惧されています。

そこで、気候変動に調和した持続可能な開発を追究していくことが喫緊の課題となります。これは難題ではあるものの、同時に、気候変動に対応するための様々なビジネスやプロジェクトなども生まれつつあり、将来の新たな希望につながる大きなチャンスと見ることもできます。

本プログラムでは、気候変動に関する原理、気候変動の様々な影響、それに対応した持続可能な開発に関する学際的な知識やスキルを身に付け、さらに気候変動への対策や関連する開発に伴う様々な問題点を見出し、それらを解決する能力を養うことを目標としています。また、気候変動問題に関わる科学者、技術者、マネージャー、リーダー、コンサルタントとして、国内のみならず国際的に活躍できる人材の育成を使命としています。

### 4 その他

#### ・ 古田元夫日越大学学長による新著のご紹介

2017年12月、古田学長の新著「ベトナムの基礎知識」が株式会社めこんより出版されました。

本書は、古田学長が「これまでのベトナム研究の集大成になるような仕事をしてみたい」と考えていたことを機に執筆されたもので、実際に体感したベトナム社会の現実に触れつつ、豊富な駐在

経験に基づいた内容となっています。多くの方がベトナムに興味、関心を持っていただけるよう、平易な文章で書かれており、ベトナムについて楽しく理解を深めることができますので、是非ご一読いただけますと幸いです。

<http://www.mekong-publishing.com/books/ISBN4-8396-0307-6.htm>

【お問合せ先】

(独) 国際協力機構 (JICA) 東南アジア・大洋州部内

日越大学構想・国内支援事務局 神田・新村

Tel: 03-5226-9065 E-mail: 1rtd3-vju@jica.go.jp

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

日越大学 Facebook (ベトナム語) <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook (日本語) <https://www.facebook.com/jicavju/>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学構想・国内支援事務局 (1rtd3-vju@jica.go.jp) までメールにてご連絡をお願いいたします。